

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【公表番号】特表2005-531807(P2005-531807A)

【公表日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2005-041

【出願番号】特願2004-517418(P2004-517418)

【国際特許分類】

G 10 K 11/178 (2006.01)

H 04 R 1/10 (2006.01)

H 04 R 3/00 (2006.01)

H 04 R 19/01 (2006.01)

【F I】

G 10 K 11/16 H

H 04 R 1/10 1 0 1 Z

H 04 R 3/00 3 2 0

H 04 R 19/01

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

雑音消去回路と、該雑音消去回路から離れて設けられた複数のヘッドフォンとを備えてなる雑音消去システムであって、

前記雑音消去回路は、雑音消去を行う必要のある雑音消去入力信号を受け取る雑音消去入力と、該雑音消去入力信号に応じて雑音消去処理が施された出力信号を提供する雑音消去出力とを備え、該雑音消去入力へ供給される所定の位相範囲の雑音消去入力信号に対して動作可能であり、

前記複数のヘッドフォンのそれぞれは、ヘッドフォン・スピーカと音響変換器とを備え、

該複数のヘッドフォンのうち少なくとも1つのヘッドフォンは、他のヘッドフォンと異なる音響特性を備え、前記所定の位相範囲の雑音消去入力信号を提供しない音響変換器を備え、かつ、該音響変換器の出力をフィルタするために設けられた受動フィルタを備えており、

前記ヘッドフォンのそれぞれは、前記雑音消去回路に個別に電気的に接続可能にされて前記受動フィルタの出力又は前記音響変換器の出力を前記雑音消去入力に提供し前記雑音消去出力の信号を前記ヘッドフォン・スピーカに提供するようにされており、

さらに、前記少なくとも1つのヘッドフォンの受動フィルタは、前記音響変換器の出力を改変して前記所定の位相範囲の雑音消去入力信号を提供するように構成されている雑音消去システム。

【請求項2】

前記フィルタが前記音響変換器と並列な高域通過フィルタである請求項1に記載の雑音消去システム・フィルタ。

【請求項3】

前記音響変換器がエレクトレット・コンデンサ・マイクロフォンを備えることを特徴とする請求項1又は2に記載の雑音消去システム。

【請求項4】

前記雑音消去回路がマイクロプロセッサを備えてなる請求項1乃至3の何れか1項に記載の雑音消去システム。

【請求項5】

所定の位相範囲の雑音消去入力信号に対して動作可能な雑音消去回路を用いて、異なる音響特性を有する複数のヘッドフォンの雑音消去を行う方法であって、

少なくとも1つのヘッドフォンに該ヘッドフォンと組み合わされた音響変換器の出力を改変するように構成された受動フィルタを設け、該フィルタが上記所定の位相範囲内の雑音消去入力信号を前記雑音消去回路に供給するようにする段階を備える方法。

【請求項6】

選択されたヘッドフォンの音響特性に応じて前記所定の位相範囲を選択する段階を備える請求項5に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

したがって一局面では、本発明は、

雑音消去回路と、該雑音消去回路から離れて設けられた複数のヘッドフォンとを備えてなる雑音消去システムであって、

前記雑音消去回路は、雑音消去を行う必要のある雑音消去入力信号を受け取る雑音消去入力と、該雑音消去入力信号に応じて雑音消去処理が施された出力信号を提供する雑音消去出力とを備え、該雑音消去入力へ供給される所定の位相範囲の雑音消去入力信号に対して動作可能であり、

前記複数のヘッドフォンのそれぞれは、ヘッドフォン・スピーカと音響変換器とを備え、

該複数のヘッドフォンのうち少なくとも1つのヘッドフォンは、他のヘッドフォンと異なる音響特性を備え、前記所定の位相範囲の雑音消去入力信号を提供しない音響変換器を備え、かつ、該音響変換器の出力をフィルタするために設けられた受動フィルタを備えており、

前記ヘッドフォンのそれぞれは、前記雑音消去回路に個別に電気的に接続可能にされて前記受動フィルタの出力又は前記音響変換器の出力を前記雑音消去入力に提供し前記雑音消去出力の信号を前記ヘッドフォン・スピーカに提供するようにされており、

さらに、前記少なくとも1つのヘッドフォンの受動フィルタは、前記音響変換器の出力を改変して前記所定の位相範囲の雑音消去入力信号を提供するように構成されている雑音消去システムに関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また別の局面では、本発明は、所定の位相範囲の雑音消去入力信号に対して動作可能な雑音消去回路を用いて、異なる音響特性を有する複数のヘッドフォンの雑音消去を行う方法であって、

少なくとも1つのヘッドフォンに該ヘッドフォンと組み合わされた音響変換器の出力を改変するように構成された受動フィルタを設け、該フィルタが上記所定の位相範囲内の雑

音消去入力信号を前記雑音消去回路に供給するようにする段階を備える方法に関する。